

会期

平成15年12月2日(火)

～

平成16年3月14日(日)

開館時間・午前9時30分～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休館日・月曜日(休日の場合はその翌日)

年末年始(12月28日【日】～1月4日【日】)

企画展

大正ロマンのもとに

～帝展の花形作家・堂本印象



「坂」

特別行事

■ 列品解説—当館学芸員による作品解説

場所／2F展示室

日時／1月25日(日)午後2時～

2月15日(日)午後2時～

※特別行事は、観覧料のみでご参加いただけます。

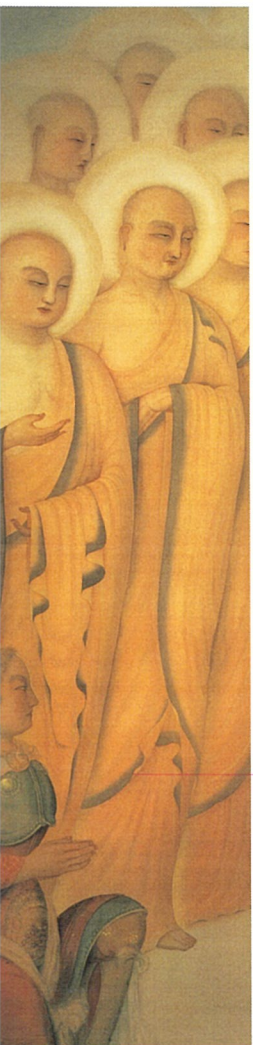
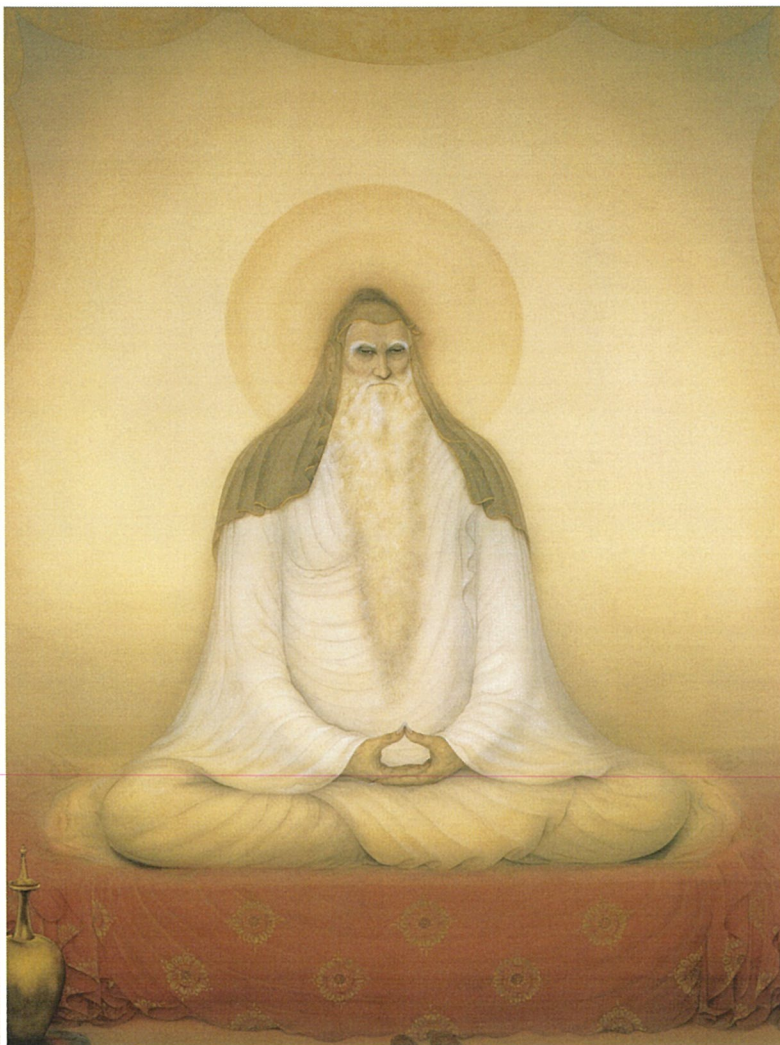
観覧料

一般…500円(400円)

高大生…400円(320円)

小中生…200円(160円)

()は20名以上の団体料金



「維摩」

京都府立

堂本印象美術館

京都市北区平野上柳町26-3 立命館大学正門前 TEL 075-463-0007

主催／京都府・(財)京都文化財団

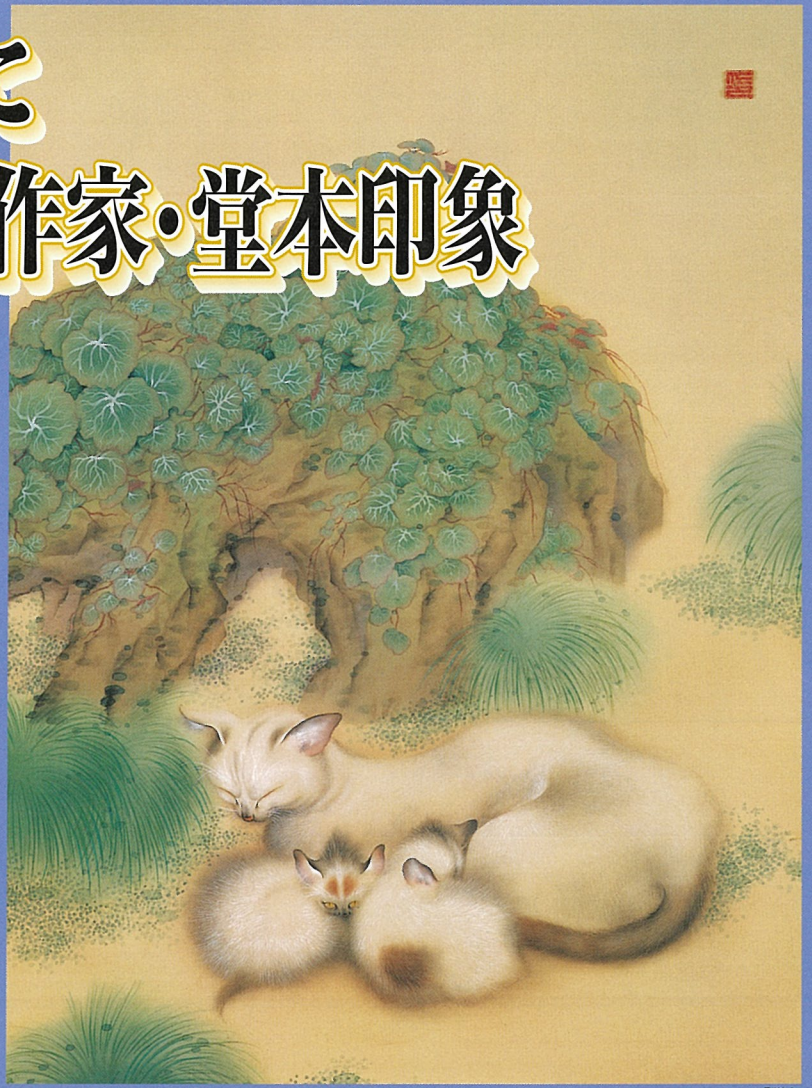
大正ロマンのもとに

～帝展の花形作家・堂本印象

平成15年12月2日(火)～平成16年3月14日(日)

明治から、自由がその時代精神ともいえる大正へと社会が変わって行く中で、大正8年、文展から改組した第1回帝展において、堂本印象は初出品の風景画『深草』で入選を果し、画家としてのデビューを飾りました。いわば、帝展の期待を受けてデビューしたともいえる印象は、これに見事に応え、10年は特選、11年に推薦、13年には早くも審査員に任命されるなど、発表した浪漫的な作品群はいずれも好評を博し、一躍画壇の寵児となったのです。

花鳥風月から宗教的な画題まで、当時の日本画壇における様々な試みを一人で遣り遂げようとするかの旺盛な制作ぶりは、以降もこの作者の制作態度として受け継がれていくこととなりますが、本展では、大正期の名作に併せ、デビュー前の珍しい作品も併陳し、印象の初期の画風をご覧ください。



【猫】



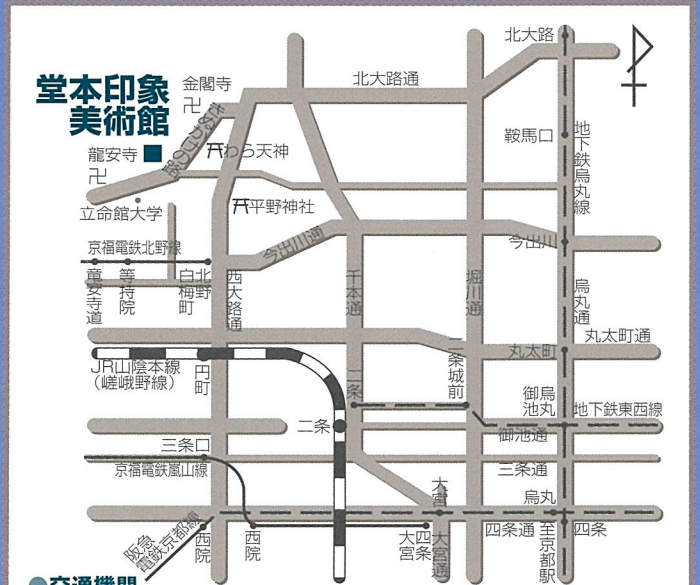
【爽山映雪】



【栢福】



【故父】



●交通機関
JR京都駅から市バス⑧、JRバス(立命館大学前経由)、阪急烏丸駅から市バス⑩⑪、京阪電車三条駅から市バス⑭⑮⑯、JR円町駅から市バス⑰にて。いずれも「立命館大学前」下車

京都府立 堂本印象美術館

〒603-8355 京都市北区平野上柳町26-3 立命館大学正門前
TEL 075-463-0007 <http://www2.ocn.ne.jp/~domoto>